

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 158 号 2011. 6. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## おいしい笑顔の頒布会！

6月12日(日)、東中野での頒布会に行きました。今回の店頭販売はゆでじゃがでした。自然年数1年と、30年の男爵イモで、ホクホクとねっとり食感の違いがあるけれど、どちらもとてもおいしかったです。

ゆでじゃがに引き寄せられて入って来るお客さんも多く、若い女性や子連れの方が見受けられました。自転車で通りかかった若いパパと男の子がいました。試食のインゲンを食べ、「おいしい！」と驚き、おにぎりとお味噌汁も注文していました。お子さんのほうは、最初とまどい気味だったようですが、食べた後はニコニコ顔で帰って行きました。試食の係の方は「食べて、違いが分ると、目がパツと変わるんです！それを見るのが楽しい」と言っていました。

面白かったのが、近所に配達に来た宅配便の方が会場をのぞいていったことです。「子供のころから、こういうのを食べなくちゃいけないんだよな」とつぶやいていたそうです。

次回のお知らせをするために、連絡先を教えてくださいました方が十数人もいました。おいしい笑顔で、ますます自然農法が広まっていくといいなと思いました。(編集部: 田村)



## 菜園金野の場合！

今回の東中野頒布会では色々な刺激を受けた。自然農法の作物のみずみずしさ。通行人を追いかけ、試食のじゃがいもを配るスタッフの熱意。そして試食のおいしさ。聞くと、普段調理の仕事をしている人が厨房にいたとのこと。そんな中、「菜園金野」のリーフレタス、かぶ、ピーマン、きゅうり、人参など多くの作物が、他の生産者の作物と共に、美しい輝きを放っていた。会場内外をうろうろすると、金野さんにお会いでき、その思いを聞くことができたのも幸いだった。

金野さんは、自然農法歴11年になる。岡田茂吉師の農業理論に感銘し、また、お母様の20坪の畑を引き継いだことがきっかけで、自然農法を始めた。現在、畑は八千代市、佐倉市の4カ所、約700坪にまで広がった。その4箇所も分散しているので、奥様と共に効率よくまわるよう日々工夫している。しかも、お仕事もされているので、その苦労は想像できる。今の時期、草も生えるので、「除草、大変ですか？」と聞くと、それはそうだ、とのこと。ヤボな質問だった。



そんな中、大勢の人が野菜を食べて喜んでくれることが楽しくて、数多い作物の栽培に挑戦し、また自家採種にも取り組んでいる。そう言われると、毎月の八王子の販売、鎌ヶ谷頒布会、東中野頒布会、農産展などで、金野さんの色とりどりの作物を見ないことはない。販売日には、必ず良い野菜を提供する、という責任感にあふれている。

このような実施者の努力によって、私たちは日々、自然農法の作物を食べるのだと学び、最近ちょっとウツギみだっただけ、「自分も何か動かなくては」と思った。(編集部: 針貝)



## 貧血が正常値に、受験乗り越える 千葉県 松野由佳



2年前、高校3年生のときです。私は卓球部に所属していました。4月の終わりに総体予選があり、その試合は3日間連続でしたが、一日一日の試合が終わった後の疲れ、だるさをいつになく感じました。その後もさらに疲れやすくなり、だるさも増していったので、部長に理解を得て、部活の練習を減らしていきました。ですが、だるさはひどくなる一方だったので、県大会をどうするかということになり、5月の終わりに病院へ行きました。血液検査と尿検査の結果、栄養不足による貧血だと言われました。

ちょうどそれより前のことですが、以前はコンビニで買った食べ物を食べても、なんともなかったのですが、だんだんそれを食べると、具合が悪くなるようになりまして。そのため、ほぼ毎日、母に作ってもらったお弁当(山本さんの自然卵をよく入れてくれました)と、自然農法のほうじ茶を持っていくようになり、それはおいしく食べることができ、胃にもおさまりました。ある日、一度だけお弁当を持って行くことができず、コンビニで買ったものを一口食べたら、まずくて食べられませんでした。こういう経験もあり、食べ物にもより気をつけました。

すると、9月初めに再検査したところ、血液は正常値に戻っていました。受験の年なのに体調をくずし、一時は朝起きるのがとてもつらく、授業が終わると頭が痛くなり、家での勉強もあまり手がつけられませんでした。ですが、この9月のころにはだいぶ良くなり、受験を乗り越え、無事に希望の大学に合格することができ、こうして大学に楽しく通えるまでに回復し、本当に有り難く思いました。

また、大学の友人Mさんは、中学生のころまでパティシエになりたかったらしく、自然農法の食材で作られたプリンとクッキーを食べると、「どうしてこんなにおいしいの！」と感激していました。自然農法の食材の大切さを感じ、広く伝えていきたいと思いました。

## 堀農園で田植え体験

6月12日(日)、長野県木島平の堀農園へ5人の方が補植のお手伝いに行きました。

この日は曇りであり暑くなく、作業も楽に進められたようです。補植とは、田植えが終わった後で苗が抜けてしまったりしたところを補う作業ですが、ひとりの方が「田植えをやりたい」と言うので、これから田植えをする圃場があったので、堀さんがいろいろ教えてください、そこで田植えを体験することができたそうです。「まっすぐに植えていくのがむずかしかった。腰が痛くなったが楽しかった。植えた苗が浮いてしまわないか心配だけど、これから育っていくのを見るのが楽しみ」と、うれしそうでした。

また、「苗がしっかりと根がよく張っていた。五三会の田んぼより歩きやすかった。5時半くらいまでやったが疲れなかった」「田んぼがとても温かくて、土が柔らかく、気持ちよかった。何より堀さんご夫妻の真心と愛情たっぷりの田んぼだと実感しました。またぜひお手伝いしたいです」などの感想を聞くことができました。作物だけでなく、田んぼや畑からも元気をもらえるのだなと思いました。(編集部)



## お知らせ

自然農法頒布会 7月19日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~(売り切れ次第終了)

鎌ヶ谷頒布会も5年を迎えようとしています! ご来場お待ちしております!

アクセス: 新鎌ヶ谷駅(北総線、東武野田線、新京成線)から徒歩5分



## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

生産者の方々が直接販売されます。

7月3日 於: 伊都能売会館

東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 黒豆納豆、きじま弁当
- 市川生産グループ: 新茶、みかんジュース(ビン入り、コップ売り)
- 長柄山自然農園: 卵、鶏ガラ
- 中島農園: 梅、ダイコン、サヤエンドウ
- ジョリフィーユ: みかんジュースゼリー、シュークリーム、カスタードプリンほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp  
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp